

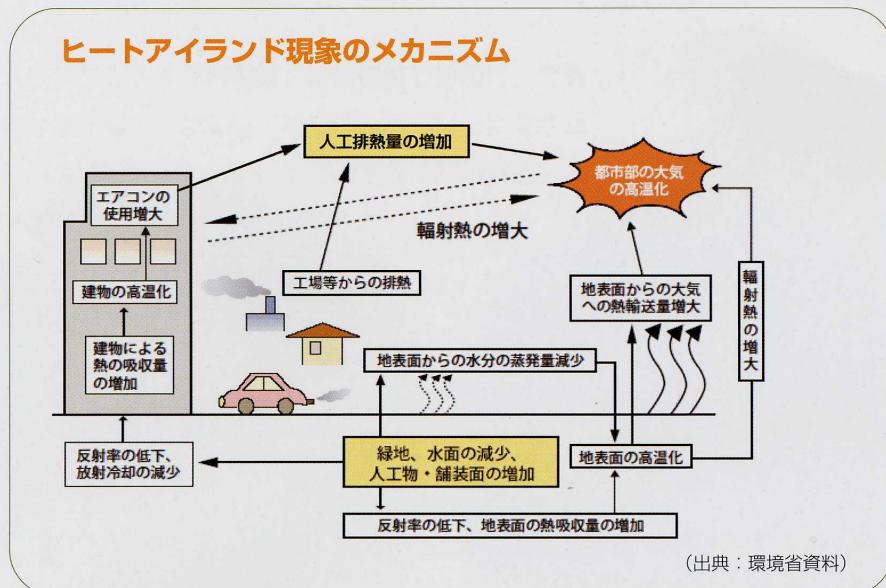
ヒートアイランド現象の緩和に向けて



兵庫県

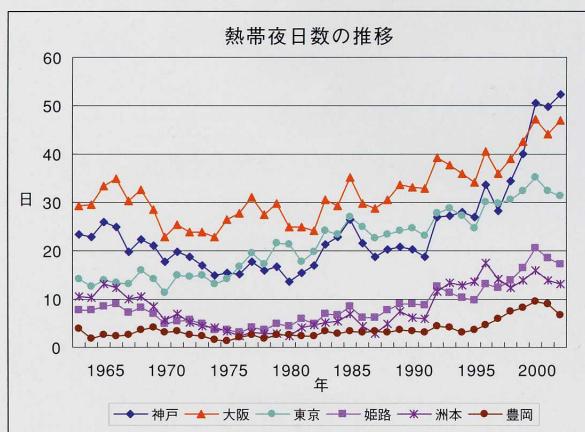
ヒートアイランド現象って何？

ヒートアイランド現象とは、都市化による建物やアスファルト舗装面などの増加（地表面被覆の人工化）や建物空調や、自動車の走行、工場の生産活動などに伴う排熱（エネルギー消費に伴う人工排熱）の増加により、地表面の熱収支が変化して引き起こされる熱大気汚染であり、都市部の気温が郊外に比べて島状に高くなる現象をいいます。



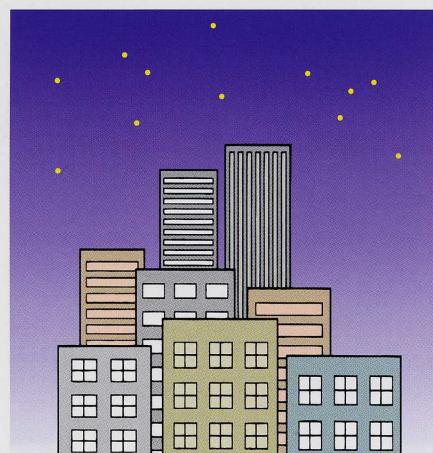
ヒートアイランド現象が進むとどうなるの？

- 熱帯夜日数が増加します
- 熱中症発生の増加に影響があります
(熱中症に伴う死者数と真夏日、熱帯夜の日数との間に相関があるとの報告もなされています)
- 冷房の使い過ぎによる更なる気温上昇の悪循環が起こります



(気象庁データから作成 5年移動平均)

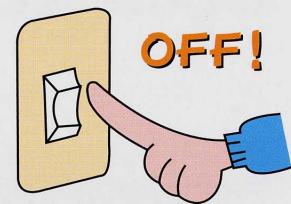
注：神戸の測定地点は、1999年9月1日に神戸市中央区中山手から神戸市中央区脇浜海岸通に移転しています。



ヒートアイランド現象をやわらげるために ～私たちにできること～

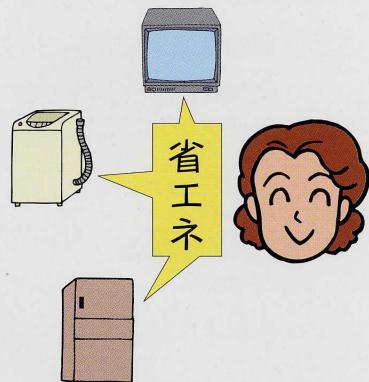
○省エネ・エコライフを実践しましょう

- ・冷房温度を28℃以上に設定しましょう。
- ・待機電力を減らし、こまめな消灯・スイッチオフをしてエネルギー使用量を減らしましょう。
- ・窓の開閉や軽装など空調に頼らない温度調節を工夫しましょう。



○電化製品の買い替えの際には、省エネ型の製品を選びましょう

省エネラベルなどを参考に省エネ型電化製品や熱効率の良い機器を購入・利用することにより、エネルギーの消費量を減らすことができます。

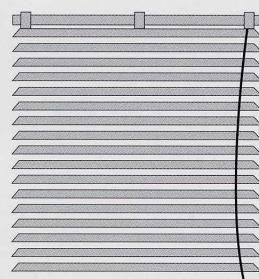


○冷暖房の効率を高めましょう

冷暖気を逃さないために、建物の断熱性能や気密性を高めることが大切です。

断熱サッシや複層ガラスなどが有効で、鉄筋コンクリート構造の住宅では屋上緑化も有効です。

夏は遮熱、冬は保温の効果があります。また、室内ではすきま風を防止し、カーテンやブラインドを効果的に利用しましょう。

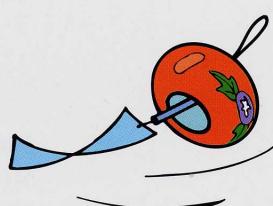


○風通しをコントロールしましょう

夏は風の流れができるように工夫し、庭に木陰を作るなどして吹く風を涼しくしましょう。

○日差しをコントロールしましょう

日差しが得られるような建物の配置、形状、窓の位置にしましょう。夏は屋根や壁が日差しにより熱を持ち、それが室内の温度を高めます。ひさしやすだれ、植物などで日差しを遮りましょう。



○公共交通機関や自転車を利用しましょう

公共交通機関や自転車の適正利用などにより都市部での交通渋滞が緩和されることにより、自動車からの排熱削減ができます。



○アイドリングストップなどエコドライブに努めましょう

アイドリングストップの実施、経済速度での走行、無駄な荷物は積まない、急発進・急加速・急ブレーキをやめる、整備点検の励行などによるエコドライブの推進により、自動車からの排熱を減少できます。



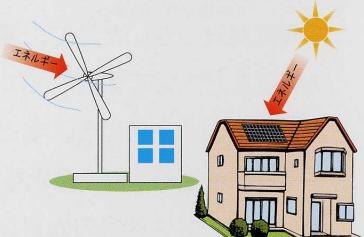
○低公害車を使用しましょう

ハイブリッド自動車、低燃費車などの低公害車（エコカー）は、エネルギー効率が良いために排ガスが少なく、通常の自動車よりも排熱が少なくなっています。



○新エネルギーを活用しましょう

太陽光エネルギーや風力エネルギーなどの新エネルギーは無尽蔵でクリーンなエネルギーです。住宅への太陽光発電や太陽熱利用などの新エネルギー導入促進により、住まいからの排熱を減少させることができます。



○屋上緑化や敷地内の緑化に努めましょう

屋上、壁面、庭やベランダなどで緑化を推進しましょう。



(兵庫県庁2号館屋上)

お問い合わせ先

兵庫県健康生活部環境局大気課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
TEL.078-362-3285 (直通)
078-341-7711
(内線 3368, 3369)
FAX.078-362-3966

兵庫県環境局ホームページ

<http://www.pref.hyogo.jp/JPN/apr/index.html>